

公明党 横浜市会ニュース 第70号

民衆の声 VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

望月やすひろ通信 市政報告 Vol.22



■ 菊名駅改良工事が始まりました！

「エレベーターやエスカレーターがほしい」

住民の皆様から長年、切実な要望をいただいていた菊名駅の駅舎改良がいよいよ始まりました。利用客や地域の住民の方々が一層、便利で快適な駅となるよう、ホームへのエレベーターやエスカレーター、多機能トイレなどが新設され、駅構内のバリアフリー化を実現するとともに、混雑の緩和を図られます。



工事が始まった菊名駅西口

現在 2 階建ての駅舎

は 4 階建てとなり、開業時期の予定は 2017 年度です。菊名駅は、東急の東横線と JR 東日本の横浜線の 2 路線が乗り入れ、接続駅となっているため、1 日あたり乗降客数は JR、東急合わせて約 20 万人にもなる県内でも利用者の多い駅で、年々、乗降客数も増加しており、JR 東日本と東急、横浜市の間で駅舎改良の協議が行なわれてきました。

■ (相鉄・東急直通線)の工事も着々と！

平成 31 年 4 月開業予定の相鉄・東急直通線の工事が着々と進んでいます。

相鉄・JR 直通線羽沢駅(仮称)から東急東横線日吉駅が整備区間となっています。新駅の新綱島駅(仮称)周辺はまちづくり協議会が立ち上がりま

りました。ますます交通アクセスが向上する港北区ですが、住民の皆様の安全・安心を基本として事業の進捗を図ります。



工事が進む新横浜駅周辺

また、新横浜駅および日吉駅周辺も工事が始

■ 横浜市の望ましい中学校昼食を実現しよう！

公明党横浜市議員団内に設置された「中学校昼食／スクールランチ・プロジェクトチーム(PT)」は、横浜型スクールランチ*の実現のため、市会における提案や質問を重ねてきました。

平成 26 年度は、市立中学校昼食の検討予算として 1000 万円が計上され、栄養バランスのとれたランチの提供に向けた調査等を実施することになっており、第 2 回定例会において、わが党の質問に対し、教育長は、デリバリー方式のような民間事業者を活用する考えを示しました(3 面トピックス参照)。

これを受け、早速、公明党横浜市議員団は、市内で産業向け給食センターや学校給食委託業務を行っている民間事業者を訪問し、スクールランチの勉強会を行ないました。

勉強会では、デリバリー方式のスクールランチ

の取り組み事例や課題について意見交換を行いました。温かなご飯や汁物や複数メニューの提供の可能性など、望ましい中学校昼食の具体的な課題を整理することができました。

今後、さらに研究・調査を進め、横浜市の望ましい中学校昼食の早期実現を目指します。



勉強会で挨拶する望月やすひろ市議員

*横浜型スクールランチ：家庭弁当との選択制で、栄養バランスのとれた複数のメニューから選ぶことができるデリバリー型のランチのこと。

「横浜市がん撲滅対策推進条例」を制定

日本人の 2 人に 1 人はがんにかかり、3 人に 1 人はがんで命を落としています。私たちにとって、がんはとも身近な病気です。

国においては公明党の強力な推進で、「がん対策基本法」が平成 19 年に施行。都道府県ごとに「推進計画」がつく

られ、放射線療法と化学療法の体制整備や「緩和ケア」の実施、がん登録推進への取り組みなどが始まっています。

このようなかで、横浜市民の皆様により広くがん対策の重要性を知っていただき、予防・検診・教育・治療・家族のケアや社会復帰の支援などの対策を推進し、国や県とも連携して、がん撲滅に向けて総合的に施策を実行していくために、「横浜市がん撲滅対策推進条例」を制定しました。

公明党市議員団も素案作成から参画し、その意見が反映された内容となっています。

本年 10 月 1 日より施行されます。

◆ 主な内容 ◆

- ① 市、市民、保健医療関係者、事業者の責務
- ② がんの予防、早期発見の推進
- ③ がんに係る医療の充実
- ④ がん患者及びその家族等への支援
- ⑤ 緩和ケア、在宅医療の充実
- ⑥ 医療従事者の育成及び確保
- ⑦ 情報の収集及び提供等
- ⑧ がん研究の推進



皆さまの、いちばん近くで動く、動く。横浜市会公明党です。

新しい構成により議会がスタート

<p>仁田 昌寿 (南区)</p> <p>横浜市会第 54 代副議長</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民・文化観光・消防委員会 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会 	<p>望月 康弘 (港北区)</p> <p>政務調査会事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康福祉・病院経営委員会副委員長 基地対策特別委員会 市会運営委員会 	<p>斎藤 真一 (都筑区)</p> <p>政務調査会副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済・港湾委員会 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会 	<p>斎藤 伸一 (保土ヶ谷区)</p> <p>政務調査会長</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策・総務・財政委員会 大都市行政特別委員会 神奈川県内広域水産企業協議会議員 	<p>源波 正保 (泉区)</p> <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設・都市整備・道路委員会 健康づくり・スポーツ推進特別委員会 市会運営委員会副委員長 	<p>高橋 正治 (緑区)</p> <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> こども青少年・教育委員会委員長 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会 神奈川県後期高齢者医療広域連合協議会議員 	<p>加藤 広人 (磯子区)</p> <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 大都市行政特別委員会
<p>安西 英俊 (港南区)</p> <p>健康福祉・病院経営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 減災対策推進特別委員会 	<p>中島 光徳 (戸塚区)</p> <p>市民・文化観光・消防委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり・スポーツ推進特別委員会 市会運営委員会 	<p>行田 朝仁 (青葉区)</p> <p>温暖化対策・環境創造・資源循環委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 基地対策特別委員会副委員長 	<p>尾崎 太 (鶴見区)</p> <p>こども青少年・教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市行政特別委員会 副委員長 	<p>竹内 康洋 (神奈川区)</p> <p>政策・総務・財政委員会副委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> 基地対策特別委員会 	<p>福島 直子 (中区)</p> <p>建設・都市整備・道路委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 減災対策推進特別委員会 副委員長 	<p>加納 重雄 (瀬谷区)</p> <p>水産・交通委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光・創造都市・国際戦略特別委員会
					<p>和田 卓生 (旭区)</p> <p>経済・港湾委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光・創造都市・国際戦略特別委員会 	

日々の活動から

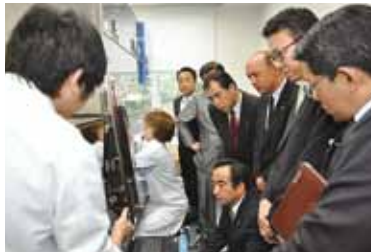
横浜の未来を拓き市民の声を形にするために！



平成24年1月から職員
の長期派遣が始まり、今年
度は10名が派遣されてい
ます。山元町の復興計画期
間である30年度まで、早期
の復興、新たなまちづくり
を支援します。

継続的な復興支援を
4月、宮城県山元町を訪問しました。横浜
市は、宮城県山元町のパートナーとして、復
興支援を継続的に展開し
ています。

最先端の研究を担う
人材の育成とともに、
中小企業を含む再生医
療関連産業の創出と振
興に結び付くよう、支
援してまいります。



市立大学先端医科学研究センターを視察
横浜市立大学先端医科学研究センターの
ヒトのiPS細胞(人工多能性幹細胞)から
臓器を作る研究の現場を視察しました。
同センターは、がんや生活習慣病、免疫ア
レルギー疾患などの基礎研究を進展させな
がら、その成果を少しでも早く診療の場や
市民に還元する「橋渡し研究」に取り組ん
でいる大学の研究施設
です。

トピックス



ランチボックスの例

トピックス
**望ましい中学校昼食の
早期実現へ前進**
5月23日に行なわれた一
般質問における公明党市議
団の質問に対し、岡田教育長
は、民間事業者が調理した弁
当を中学校に配達する方法
が現実的であること、また、
配達弁当の一時保管場所や
校内搬入ルートなどの調査
や児童生徒・保護者・教職
員や一般市民を対象とした
アンケートを6月に実施す
ると答弁しました。
さらに、この結果を踏ま
え、出来るだけ早い時期に横
浜らしい中学校昼食のあり
方をまとめていくと答弁し
ました。

今後の予定

- 【9月】事前申込み受
付開始
- 【10月】事前申込みし
た市民へ歩数計を送
付
- 【11月】事業開始



**よこはまウォーキングポイント事業が
秋にスタート！**
少子高齢社会における健康増進・介護予防
のためのよこはまウォーキングポイント事業
が、今秋にスタートします。
本事業は、日常生活の中で市民にウォーキン
グによる健康づくりに取
り組んでいただく事業で、
40歳以上の市民であれば、
参加登録申請をすること
でどなたでも参加するこ
とができます。

事業イメージ図

議員提案による条例が可決

公明党と自民党の共同提案による「横浜市子供
を虐待から守る条例」及び「横浜市将来にわたる責
任ある財政運営の推進に関する条例」が賛成多数
で可決しました。

横浜市子供を虐待から守る条例の制定

横浜が子供に優しい街を目指し、子供が虐げら
れ、傷つくことがないように、全ての市民が一体と
なって、地域で子供と家庭を支える環境を構
築することを目的としています。

横浜市将来にわたる責任ある財政運営の 推進に関する条例

市長と議会の責
任を明確にして将
来にわたる責任あ
る財政運営を目指
します。
議決対象とされ
る基本計画の策定
と合わせて、施策の
推進との両立を図
る財政健全性を確
保するための財政
目標を設定するこ
とが明確に位置づ
けられています。



子育てしやすい街を目指して～横浜市の保育所待機児童対策



横浜市は昨年、公明党市
議団が提案した保育コン
シェルジュをはじめ、様々
な待機児童対策により、待
機児童「0」を実現し、その
取り組みは全国自治体の模
範となりました。
本年4月1日現在の待機
児童数は、保育所申込者数
が昨年より4114名増加す
るなか、20名となりました。
公明党市議団は、引き続
き、子育てしやすい街を目指
して、子育て支援施策の充実
に取り組んで参ります。

公明党推進

「臨時福祉給付金」と
「子育て世帯臨時特例給付金」
が支給されます

横浜市では、本事業の実施にあ
たり、市民の皆様からの「申請手続
はどうしたらいいか?」「自分は支
給対象者になるか?」等の疑問に
お答えするため、フリーダイヤル
で対応するコールセンターを設置
しています。このコールセンター
は外国語にも対応しています。
対象と思われる方には7月中旬
頃にご案内が送付されます。支給
開始は8月以降となる予定です。

専用ダイヤル **0120-400-575**
設置期間 平成27年2月28日(土)まで
全日9:00~18:00
(土・日・祝日・年末年始も実施)

平成26年5月補正予算で

雇用対策を推進

若者や女性、高齢者等の潜在力を引き出し、失業
者の就職支援など雇用拡大に向けた環境整備等を
推進する補正予算が可決しました。
働きながら介護資格を取得できるよう支援を行
うことや、50代、60代の
失業者に対する介護職へ
の就労支援、また、就労
体験先の確保や就職面接
会の実施などのマッチン
グ支援の強化等に取り組
むものです。